YANAIHARA WOMEN'S CLINIC
医療法人社団 守巧会
矢内原ウィメンズクリニック

慢性子宮内膜炎

(Chronic Endometritis:CE)について

◎ 慢性子宮内膜炎(CE)とは…

子宮内膜は、受精卵が着床する子宮の内側の組織です。慢性子宮内膜炎は、この組織に軽度の炎症が持続している状態をいいます。反復着床不全の約30%に慢性子宮内膜炎を認めると言われています。子宮内膜組織を採取し、形質細胞を確認し診断します。

原因

細菌感染や子宮内の細菌バランスの変化などが関係すると考えられています。

症状

多くの場合、はっきりした自覚症状はありません。
症状がある場合には、不正出血、月経以外の下腹部の違和感、帯下(おりもの)の変化などがみられることがあります。症状だけで診断することはできません。

妊娠への影響

子宮内膜に炎症が続くと、着床に必要な免疫環境や内膜の働き(受容能)に影響する可能性があります。反復着床不全や流産との関連が報告されていますが、慢性子宮内膜炎が見つかっても、必ず妊娠しにくい、または流産するというわけではありません。妊娠への影響や治療効果には、まだ十分にわかってない点があります。

検査

子宮鏡検査で子宮内の状態(発赤、むくみ、ポリープなど)を確認します。主な検査は子宮内膜組織検査(内膜生検)です。細い器具で内膜を少量採取し、病理検査(CD138免疫染色を用いて)で炎症に関係する「形質細胞」を確認します。検査時には痛みや少量の出血が生じることがあります。

- 時期
  排卵前後〜高温期
- 検査日時
  月・火・水・金・土
  午前11:30まで、
  午後は17:00まで(土曜日は16:00まで)
- 予約
  医師と確認しながら検査日時を決めます。
  ご自身で検査日時(診察枠)の予約をお取りください。
- 持ち物
  昼用ナプキン1枚



注意点

- 検査を行う月経周期は避妊をしてください。
- 当日、出血がある場合、検査ができないことがあります。
- 来院時間の2時間前から尿を溜めてきてください。
- 通常は3分程度の検査で痛みも軽度です。しかし、子宮口が硬い場合など、器具挿入が困難な場合には痛みを伴うことがあります。
- 子宮内膜検体の採取が難しく、検体量が不足するなどして再検査が必要となる場合があります。再検査が必要な場合、子宮内膜検査料などは無料です。
- 検査結果は4週間程要します。

検査後

- 数日間出血することがあります。
- 当日はシャワー浴としてください。他は通常の生活をお過ごしください。
- 検査当日の性交渉は控えてください。

費用

こちらをクリックしてご確認ください（自費の検査となります）。

検査結果によっては追加費用がかかります。ご了承ください。

治療

- 慢性子宮内膜炎があった場合、抗菌薬を内服します。
  主な副作用には、吐き気、下痢、発疹などがあります。気になる症状があれば医師にご相談ください。
  その効果判定を行う場合、抗菌薬内服終了後、1週間以上経過してから検査を行います。

ご不明な点がありましたら、医師または看護師にご相談ください。

医療法人社団 守巧会

矢内原ウィメンズクリニック